

名称は「ほんまち広場603」

地域交流の場 公募115種類から選考

商店街組合

御坊市の本町商店街振興組合(坂井和夫代表理事)が、紀州鉄道紀伊御坊駅近くの踏切そばにある本町3丁目商店街の空き地(約240平方メートル)を整備し、同

「キハ603」を保存活用した広場の名称が「ほんまち広場603」に決まった。昨年12月に公募し、応募のあった115種類から全組

合員の意見を聞き、理事会で選考した。

本町商店街の活性化シンボル、世代を超えた地域交流の場にしようと、事業費1830万円(うち国補助1201万円、市補助295万円)を投じ、空き地にレールや碎石を敷き「キハ603」を置いて車両を保存。車両内は改装し、半分を持ち帰りの店(たこ焼き店、井物店)が出店し、残

りの半分は地域住民が交流できるコミュニティスペースとして本棚を置いて絵本やマンガ、単行本などを揃え、12月16日にオープンした。

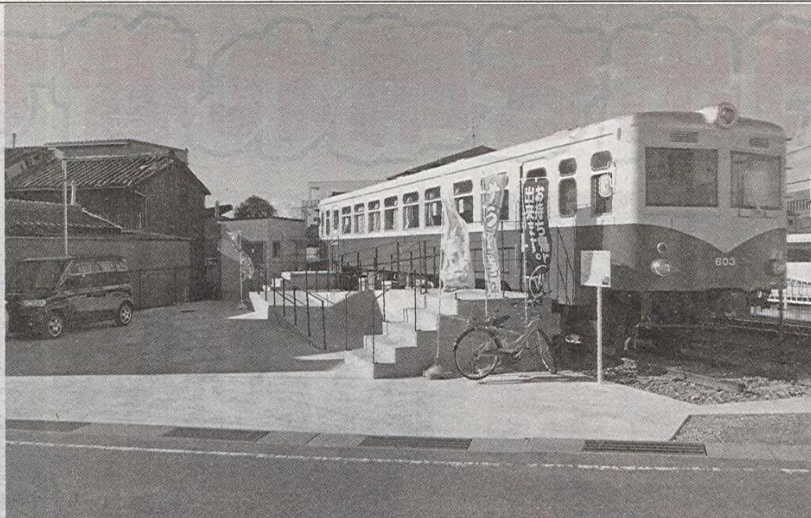
オープンにあわせ12月初旬から31日まで広場の名称を公募。御坊市、日高郡内から94人、115種類の応募があった。組合員の全47店舗に応募者の名前を伏せて気に入った名称5つを選

んでもらい、その結果をもとに理事会で選考。組合員から「ほんまち広場603」と「キハ603広場」の2種類が同数で最多票を集め、次いで「ほんまちパーク603」が多かった。広場、パークは同じ意味であることも踏まえ「ほんまち広場603」に決定。応募したのは市内女性(匿名希望)で、ほんまち通貨1万円分をプレゼントする。

坂井代表理事は「予想以上の応募をいただき、ありがとうございました。誠にありがとうございました。これから多くの皆さんにご愛顧いただきたい」と話した。13日午前10時から本二会館前で新春大初市のイベントを開き、10時から日高高校フラインク部、午後1時30分から

紀史館高校吹奏楽部が演奏。演奏した高校生にキハ車両の2店で使える1000円割引券をプレゼントし、店の利用を呼びかける。今後は絵本の読みきかせや各種作品展、キハ市など各種イベントも計画している。

「キハ603」は昭和35年製のディーゼル車両で長さ20メートル、幅2.7メートル、高さ3.6メートルで定員120人(座席数76席)。昭和50年に紀州鉄道が大分交通耶馬溪線より購入し、延べ走行距離76万キロ、延べ約331万人が利用したが、老朽化等で平成24年に廃車になった。今回の整備で前面2枚窓の金太郎塗り(カーブの付いたVの字の塗装)、緑色とクリーム色の往年の姿が復活した。



キハ車両を保存活用した「ほんまち広場603」